

【羊ヶ丘病院の“今”をお知らせ】



平成26年度 院内研究発表会開催しました

NEWS

2014年12月26日（金）午後、外来・リハビリテーションを休診とさせて頂き、「平成26年度 院内研究発表会」を開催しました。当院は「学習型病院」を「職員心得」に掲げ、日頃の臨床結果や改善点等を学術発表しています。今回は医師2名、看護部4名、リハビリテーション科3名、放射線科1名の計10名が発表致しました。



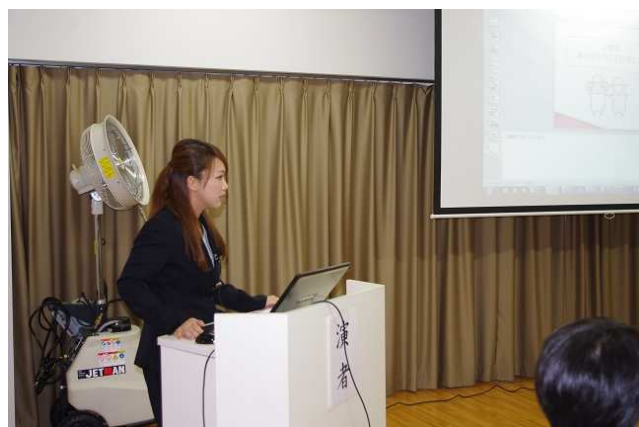
「陈旧性肩関節後方脱臼の1例」(富原医師)



「メディカルアシスタントによる手術室部屋準備における
チェックリストの有用性」(看護部手術室 中原)



「人工膝関節全置換術前後における歩行時の筋活動」
(リハビリテーション科 吉田)



「麻酔科術前診察を外来で行う必要がある患者の
抜粋チェックリストの策定とその有用性の検討」
(看護部外来 松尾)



「高校野球センスの投球時痛・肩甲骨周囲筋と
KJOCスコアの関係」(リハビリテーション科 前)



「外反母趾のトゥスペーサーの検討～プラスチック粘土
を使用して～」(看護部病棟 米谷)



「外反母趾と扁平足の関係」(放射線科 湊谷)



「肩腱板断裂手術後の疼痛の推移」(看護部病棟 鹿角)



「高校女子ソフトボール選手の投球時痛・肩甲骨周囲筋力と
KJOCスコアの関係について」

(リハビリテーション科 佐藤)



「鏡視下腱板修復術後の再断裂例の検討」(阿部医師)



発表を真剣に聞く職員



座長の渡邊医師（写真左）と麻酔科の中山医師（写真右）



活発な質疑応答



審査員をお勤め頂いた札幌医大 石井清一名誉教授



開会の辞は倉理事長より



閉会の辞は岡村病院長より

審査員をお勤め頂いた札幌医大 石井清一名誉教授からは「病院が一体となって勉強をしようという意識を感じました」とお言葉を頂きました。また、岡村病院長は閉会の辞で「ちょっとした疑問に思うことが研究になり、その研究が患者さんのためにもなります。これからも毎年発表会は行いますので、研究を重ねていって下さい」と「院内研究発表会」の意義を職員へ伝えました。

同日夜、忘年会にて表彰式が開催され、次の方々が受章しました。



優秀賞 放射線科 湊谷



優秀賞 リハビリテーション科 吉田



最優秀賞 看護部病棟 米谷